

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年4月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	3,799
		3号炉	3,695

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	4月30日	949	
		3号炉	4月30日	978	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	—	概ね 200 以下
		2号炉	4月30日	170	
		3号炉	4月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	4月30日	6	
		3号炉	4月30日	4	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	4月21日	5月13日	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
ばいじん	1回/2月					0.40 m <sup>3</sup> N/h	82.7 m <sup>3</sup> N/h	
塩化水素	1回/2月					12 ppm		
窒素酸化物	1回/2月					<0.00077 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N	
全水銀	1回/4月					28 mg/m <sup>3</sup> N		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	4月22日	5月13日	17 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N	
ばいじん	1回/2月					61 ppm		
塩化水素	1回/2月					18 ppm	180 ppm	
窒素酸化物	1回/2月					52 ppm		
全水銀	1回/4月					0.38 m <sup>3</sup> N/h	83.1 m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月	11 ppm	0.08 g/m <sup>3</sup> N					
塩化水素	1回/2月	<0.00068 g/m <sup>3</sup> N						
窒素酸化物	1回/2月	30 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N					
全水銀	1回/4月	18 ppm						
窒素酸化物	1回/2月	52 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月	0.58 µg/m <sup>3</sup>		50 µg/m <sup>3</sup>				

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年5月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,925
		2号炉	4,037
		3号炉	1,741

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	5月31日	928	800 以上
		2号炉	5月31日	957	
		3号炉	5月14日	967	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	5月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	5月31日	170	
		3号炉	5月14日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	5月31日	6	100 以下
		2号炉	5月31日	7	
		3号炉	5月14日	5	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	5月19日	6月10日	0.20 m <sup>3</sup> N/h	77.3 m <sup>3</sup> N/h
	7.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00062 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					26 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					16 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					61 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月				1.2 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年6月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,904
		2号炉	3,303
		3号炉	1,498

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	6月30日	933	800 以上
		2号炉	6月26日	960	
		3号炉	6月30日	951	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	6月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	6月26日	170	
		3号炉	6月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	6月30日	6	100 以下
		2号炉	6月26日	5	
		3号炉	6月30日	3	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	6月16日	7月9日	0.24 m <sup>3</sup> N/h	76.5 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					9.9 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.00069 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					23 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					14 ppm	180 ppm
窒素酸化物	1回/2月					59 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年7月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
		可燃ごみ	1号炉
	2号炉		—
	3号炉		4,333

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度 <sup>※1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	7月31日	944	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	7月31日	967	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度 <sup>※1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	7月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	7月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 <sup>※1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	7月31日	6	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	7月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん <sup>※2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
		冷却設備	1号炉
2号炉			休炉
3号炉			稼働時常時機械除去
排ガス 処理設備		1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰  
排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値
ダイオキシン類 <sup>※3</sup>	1回/年	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月7日	8月1日	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量  
排ガス中のばい煙濃度<sup>※4※5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	1号炉	7月7日	8月1日	0.20 m <sup>3</sup> N/h	81.3 m <sup>3</sup> N/h
	6.7 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00067 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					25 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					15 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	2号炉	7月8日	8月1日	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サンプリング口)	3号炉	7月8日	8月1日	0.21 m <sup>3</sup> N/h	82.7 m <sup>3</sup> N/h
	6.4 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00069 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					28 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					17 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

※6 1号炉は基幹改良工事に伴い7月28日より停止しており、稼働後 (令和5年2月予定) に測定を実施予定です。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年8月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	221
		2号炉	4,073
		3号炉	4,564

項目	データ	測定位置	結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値	
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)		燃焼室 出口	1号炉	8月2日	944	800 以上
			2号炉	8月31日	973	
			3号炉	8月31日	994	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)		集じん器 入口	1号炉	8月2日	170	概ね 200 以下
			2号炉	8月31日	170	
			3号炉	8月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)		集じん器 出口	1号炉	8月2日	5	100 以下
			2号炉	8月31日	5	
			3号炉	8月31日	4	

※1 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※2 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>		1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
				2号炉	8月20日	10月9日	0 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
				3号炉	8月20日	10月9日	0.000740 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※3 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

項目	データ	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉		m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん		1回/2月				ppm		
塩化水素		1回/2月				g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月				mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀		1回/4月				ppm		200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月	ppm	180 ppm				
全水銀		1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	8月20日	9月19日	0.36 m <sup>3</sup> N/h	79.1 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん		1回/2月					13 ppm	
塩化水素		1回/2月					<0.00064 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月					36 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀		1回/4月					22 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月	68 ppm	180 ppm				
全水銀		1回/4月	— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				
硫黄酸化物		1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	8月20日	9月19日	0.25 m <sup>3</sup> N/h	81.9 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん		1回/2月					8.0 ppm	
塩化水素		1回/2月					<0.00071 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月					32 mg/m <sup>3</sup> N	
全水銀		1回/4月					19 ppm	200 mg/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物		1回/2月	70 ppm	180 ppm				
全水銀		1回/4月	— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>				

※4 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※5 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年9月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	—
		2号炉	4,443
		3号炉	4,436

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	休炉	—	800 以上
		2号炉	9月30日	978	
		3号炉	9月30日	979	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	休炉	170	概ね 200 以下
		2号炉	9月30日	—	
		3号炉	9月30日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	休炉	—	100 以下
		2号炉	9月30日	5	
		3号炉	9月30日	5	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	休炉
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
						µg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
						µg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
						µg/m <sup>3</sup>		

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年10月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,300
		2号炉	4,592
		3号炉	2,866

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	10月31日	959	800 以上
		2号炉	10月31日	974	
		3号炉	10月20日	983	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	10月31日	170	概ね 200 以下
		2号炉	10月31日	170	
		3号炉	10月20日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	10月31日	5	100 以下
		2号炉	10月31日	8	
		3号炉	10月20日	5	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	10月22日	11月26日	0.58 m <sup>3</sup> N/h	82.0 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	18 ppm						
塩化水素	<0.00062 g/m <sup>3</sup> N						
窒素酸化物	38 mg/m <sup>3</sup> N						
全水銀	23 ppm						
窒素酸化物	72 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月					<0.57 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	10月21日	11月26日	0.29 m <sup>3</sup> N/h	80.5 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	10 ppm						
塩化水素	<0.00060 g/m <sup>3</sup> N						
窒素酸化物	29 mg/m <sup>3</sup> N						
全水銀	18 ppm						
窒素酸化物	66 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月					1.9 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	10月17日	11月26日	0.19 m <sup>3</sup> N/h	81.2 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	6.1 ppm						
塩化水素	<0.00068 g/m <sup>3</sup> N						
窒素酸化物	24 mg/m <sup>3</sup> N						
全水銀	14 ppm						
窒素酸化物	66 ppm	180 ppm					
全水銀	1回/4月					1.2 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年11月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	4,239
		2号炉	4,236
		3号炉	—

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	11月30日	966	800 以上
		2号炉	11月30日	978	
		3号炉	休炉	—	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	11月30日	170	概ね 200 以下
		2号炉	11月30日	170	
		3号炉	休炉	—	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	11月30日	6	100 以下
		2号炉	11月30日	7	
		3号炉	休炉	—	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月5日	12月22日	0.00015 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	11月5日	12月19日	0.43 m <sup>3</sup> N/h	82.4 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	13 ppm						
塩化水素	<0.00064 g/m <sup>3</sup> N					0.08 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	32 mg/m <sup>3</sup> N						
全水銀	19 ppm						
窒素酸化物	78 ppm					180 ppm	
全水銀	1回/4月					— μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉			m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	13 ppm						
塩化水素	<0.00064 g/m <sup>3</sup> N					0.08 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	32 mg/m <sup>3</sup> N						
全水銀	19 ppm						
窒素酸化物	78 ppm					180 ppm	
全水銀	1回/4月					μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉			m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	13 ppm						
塩化水素	<0.00064 g/m <sup>3</sup> N					0.08 g/m <sup>3</sup> N	
窒素酸化物	32 mg/m <sup>3</sup> N						
全水銀	19 ppm						
窒素酸化物	78 ppm					180 ppm	
全水銀	1回/4月					μg/m <sup>3</sup>	50 μg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和7年12月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,809
		2号炉	2,282
		3号炉	1,759

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	12月24日	946	800 以上
		2号炉	休炉	960	
		3号炉	12月31日	981	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	12月24日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	170	
		3号炉	12月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	12月24日	5	100 以下
		2号炉	休炉	7	
		3号炉	12月31日	7	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備に たい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除 去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉			ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した 年月日	結果の得ら れた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	12月22日	1月23日	0.2 m <sup>3</sup> N/h	77.8 m <sup>3</sup> N/h
	7.5 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00072 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					15 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	9.4 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					69 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	12月8日	1月23日	0.088 m <sup>3</sup> N/h	81.0 m <sup>3</sup> N/h
	2.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00065 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					9.0 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	5.5 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					69 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	12月23日	1月23日	0.43 m <sup>3</sup> N/h	78.1 m <sup>3</sup> N/h
	15 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00062 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					15 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	9.2 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					64 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					— µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和8年1月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	2,199
		2号炉	—
		3号炉	2,191

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	1月16日	970	800 以上
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	1月16日	999	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	1月16日	170	概ね 200 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	1月16日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	1月16日	6	100 以下
		2号炉	休炉	—	
		3号炉	1月16日	4	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値	
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>					
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h	
ばいじん	1回/2月					ppm		
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N		0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N		
全水銀	1回/4月					ppm		180 ppm
全水銀	1回/4月	µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>					

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

# クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和8年2月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	3,704
		2号炉	—
		3号炉	3,680

データ 項目	測定位置		結果報告日 <small>(稼働時常時測定)</small>	測定値 <small>(月平均値)</small>	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	2月28日	963	800 以上
		2号炉	2月28日	—	
		3号炉	2月28日	982	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	2月28日	170	概ね 200 以下
		2号炉	2月28日	—	
		3号炉	2月28日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	2月28日	6	100 以下
		2号炉	2月28日	—	
		3号炉	2月28日	5	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	休炉
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	2月9日	3月26日	0.20 m <sup>3</sup> N/h	80.2 m <sup>3</sup> N/h
	6.8 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00061 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					20 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	12 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					70 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			0.62 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
	ppm						
ばいじん	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	ppm						
窒素酸化物	1回/2月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>		
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	2月10日	3月26日	0.22 m <sup>3</sup> N/h	81.0 m <sup>3</sup> N/h
	6.9 ppm						
ばいじん	1回/2月					<0.00074 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
塩化水素	1回/2月					27 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
	16 ppm						
窒素酸化物	1回/2月					72 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月			0.88 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>		

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。

クリーンセンター大崎維持管理記録書(令和8年3月分)

処分した廃棄物	種類		処理量(t)
	可燃ごみ	1号炉	1,702
		2号炉	2,659
		3号炉	4,128

データ 項目	測定位置		結果報告日 (稼働時常時測定)	測定値 (月平均値)	維持管理 基準値
燃焼ガス温度※ <sup>1</sup> (°C)	燃焼室 出口	1号炉	3月27日	957	800 以上
		2号炉	3月31日	967	
		3号炉	3月31日	977	
集じん器に流入する燃焼ガスの温度※ <sup>1</sup> (°C)	集じん器 入口	1号炉	3月27日	170	概ね 200 以下
		2号炉	3月31日	170	
		3号炉	3月31日	170	
排ガス中の一酸化炭素濃度 ※ <sup>1</sup> (ppm)	集じん器 出口	1号炉	3月27日	6	100 以下
		2号炉	3月31日	5	
		3号炉	3月31日	5	

※<sup>1</sup> 燃焼排ガス中のダイオキシン類発生を抑制するための指標

冷却設備, 排ガス処理設備にたい積したばいじん※ <sup>2</sup> の除去を行った年月日	実施箇所		除去を行った年月日
	冷却設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
		3号炉	稼働時常時機械除去
	排ガス 処理設備	1号炉	稼働時常時機械除去
		2号炉	稼働時常時機械除去
3号炉		稼働時常時機械除去	

※<sup>2</sup> 燃焼排ガス中に含まれる煤や灰

排ガス中のダイオキシン類濃度

データ 項目	測定回数	採取した位置	採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法規制値	
ダイオキシン類 ※ <sup>3</sup>	1回/年	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N
			2号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	
			3号炉	/	/	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	

※<sup>3</sup> 標準状態 (0°C, 1気圧) に換算した排ガス中に含まれたダイオキシン類の量

排ガス中のばい煙濃度※<sup>4</sup>※<sup>5</sup>

データ 項目	測定回数	採取した位置		採取した年月日	結果の得られた年月日	測定結果	法・条例規制値
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	1号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	2号炉	3月17日	3月31日	0.54 m <sup>3</sup> N/h	78.1 m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					20 ppm	
塩化水素	1回/2月					<0.00064 g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					24 mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					14 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					72 ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					2.5 µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>
硫黄酸化物	1回/2月	煙突 (サブリング口)	3号炉	/	/	m <sup>3</sup> N/h	— m <sup>3</sup> N/h
ばいじん	1回/2月					ppm	
塩化水素	1回/2月					g/m <sup>3</sup> N	0.08 g/m <sup>3</sup> N
窒素酸化物	1回/2月					mg/m <sup>3</sup> N	200 mg/m <sup>3</sup> N
全水銀	1回/4月					ppm	180 ppm
全水銀	1回/4月					µg/m <sup>3</sup>	50 µg/m <sup>3</sup>

※<sup>4</sup> 年間測定回数や運転管理状況によって毎月の測定項目は異なります。

また、全水銀の再測定を行った場合はその平均値を表示することがあります。

※<sup>5</sup> 硫黄酸化物、塩化水素におけるばい煙濃度 (容積比) は各項目の測定結果の下段に記載しています。